## **D03-4**

# 定量的プロジェクト管理ツール(IPF) I/F仕様書

第 1.0 版 2011年9月30日 株式会社 フォーレスト

## はじめに

本ドキュメントは、定量的プロジェクト管理ツール(IPF)のI/F仕様書である。

定量的プロジェクト管理ツール (IPF)	システム名	プロジェクト名	履歴	改訂者	最新更新日	作成者	作成日
I╱F仕様書	IPF	IPF	1.0版			フォーレスト	2011/9/30

## 目 次

1. I/F仕様書について	••••	3
2. コンポーネント間のインタフェース概要		4
3. 定量データの概要		5
4. サンプルデータ投入プログラムと定量的分析・診断グラフ用情報のI/F	<del>.</del>	6

#### 1. I/F仕様書について

#### (1) I/F仕様書の目的

定量的プロジェクト管理ツールにおけるプロジェクト管理PFと、定量的分析・診断機能間の連携するデータを定義することを目的とする。

#### (2) 本設計書の位置付け

本設計書の位置づけを以下に示す。



#### (3) 本書の対象読者

IPFライブラリの詳細を理解しようとする者、及び改変を行う者とする。

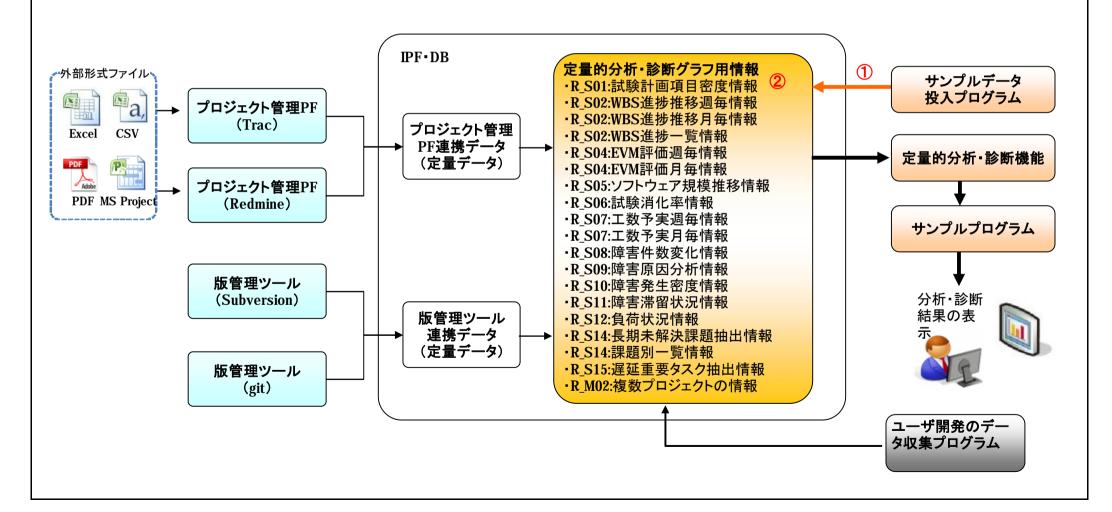
定量的プロジェクト管理ツール (IPF)	システム名	プロジェクト名	履歴   改訂者	最新更新日	作成者	作成日
I╱F仕様書	IPF	IPF	1.0版		フォーレスト	2011/9/3

#### 2. コンポーネント間のインタフェース概要

IPF・DBに、プロジェクト管理PF及び版管理ツールからの連携データを保持するテーブル、及び定量的分析・診断機能で表示する各グラフと対応する 定量的分析・診断グラフ用情報を持つテーブルを配置する。

IPFライブラリのサンプルデータは、サンプルデータ投入プログラムから定量的分析・診断グラフ用情報のテーブルに直接データを投入する。(下図の①)

定量的分析・診断グラフ用情報の詳細については、「IPF・DB設計書」を参照。(下図の2)

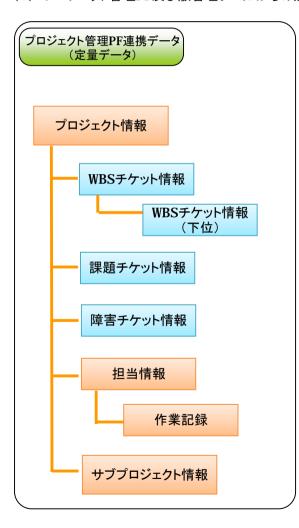


定量的プロジェクト管理ツール (IPF)	システム名	プロジェクト名	履歴	改訂者	最新更新日	作成者	作成日
I/F仕様書	IPF	IPF	1.0版			フォーレスト	2011/9/30

### 3. 定量データの概要

本章ではIPF・DBで定量データとして、定量的分析・診断機能に利用するデータの概要について記載を行う。

(1) プロジェクト管理PF及び版管理ツールからの連携データ構成





定量データ	概要
プロジェクト情報	プロジェクトごとに1件のデータとする。
サブプロジェクト情報	サブプロジェクトを親子関係の階層構造で管理する。
WBSチケット情報	WBSのタスク1件を1チケットとする。
	ワークパッケージまで親子関係の階層構造で管理する。
課題チケット情報	課題1件を1チケットとする。
	課題の定義は、プロジェクトを推進する上で解決すべき問題の内、障害を除いたものとする。
障害チケット情報	障害1件を1チケットとする。
	障害の定義は、設計、製造、及び試験工程で作りこまれたプログラムの不具合とする。
担当情報	作業者1名ごとに1件のデータとする。
	作業者のID、氏名などを管理する。
作業記録	作業記録登録ごとに1件のデータとする。一日で複数の記録がある場合もある。
	作業者ごとに、各チケットの作業時間などを記録する。
ソース情報	ソースファイルごとに日単位、もしくは、構成管理へのコミット単位で1件のデータとする。
	ソースファイルのID、ファイル名、ステップ数(SLOC)などを管理する。

定量的プロジェクト管理ツール (IPF)	システム名	プロジェクト名	履歴 改訂	T者 最新更新日	作成者	作成日
I/F仕様書	IPF	IPF	1.0版		フォーレスト	2011/9/30

#### 4. サンプルデータ投入プログラムと定量的分析・診断グラフ用情報のI/F

本章ではサンプルデータ投入プログラムと定量的分析・診断グラフ用情報のI/Fについて記載を行う。

サンプルデータの項目と、定量的分析・診断グラフ用情報の項目は、1対1に対応するので、項目の記述は省略する。 定量的分析・診断グラフ用情報の項目については、「IPF・DB設計書」を参照。

